

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立深谷第一高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒の実態や学校の現状に応じた適切な目指す学校像であり、生徒・保護者・地域などの期待に応えるものとなっている。学校として目指す方向を明瞭かつ簡潔に示せると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	課題解決のための中期的な視点に立つ目標となっている。保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、課題などを更に検討・整理して、一層のレベルアップに向けた目標とすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学年・教科が連携し、学校自己評価システムが運営されている。重点目標の達成に向けて組織間の連携を強化し、本システムが学校全体として機能するように更に工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌・学年・教科のシートが作成されている。方策や評価指標が抽象的であるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定し、教職員間でその達成イメージを共有でき、方策の達成状況を評価できる指標を設定することが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の中・長期的な課題に対し、組織的に取り組もうとしている。校長がリーダーシップを的確に発揮して、全教職員が目標達成に向けて共通理解を深め、学校全体として組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒アンケートを実施し、結果を分析して学校自己評価のための情報収集をしている。今後は、保護者アンケートを実施するなど情報収集を更に工夫するとともに、学校関係者の意見やアンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげていただきたい。
特記事項		